

大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野



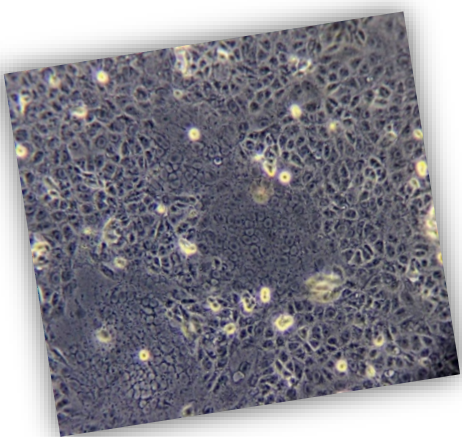
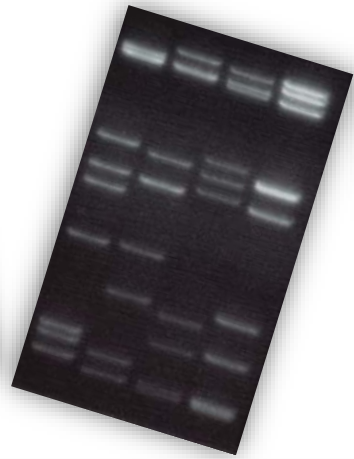
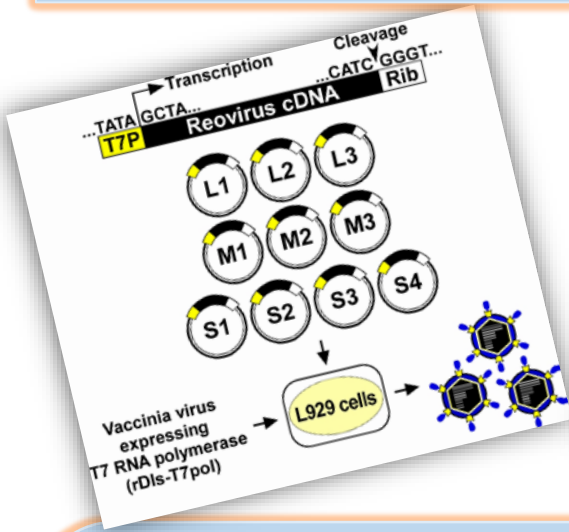
研究内容

1) ロタウイルス、高病原性レオウイルスに関する研究

ロタウイルス(RV)は乳幼児の急性胃腸炎の主な原因病原体で、医療の発展が遅れている開発途上国では、RV感染によって死亡する乳幼児が多く存在しています。最近、私達は、RVにおける遺伝子操作系(リバースジェネティクス系)の開発に成功しました。RVの予防・治療法の確立を目的に、新規リバースジェネティクス系を用いて複製機構、病態発現機序の解明を行っています。加えて、ヒトに重篤な呼吸器疾患を引き起こす高病原性のコウモリ由来レオウイルスについても研究を行っています。

2) 腫瘍溶解性レオウイルスを用いた癌治療に関する研究

哺乳類オルソレオウイルス(MRV)は、10分節の2本鎖RNAをゲノムとして持っています。MRVは腫瘍細胞で選択的に増殖し、腫瘍細胞を溶解することから、頭頸部癌、大腸癌、乳癌、膵臓癌等の治療を目的とした、腫瘍溶解性ウイルスとしての研究が進んでいます。私達はMRVのリバースジェネティクス系を導入・駆使することで、遺伝子改変MRVを作出し、より安全で治療効果の高い腫瘍溶解性MRVの開発研究を行っています。



准教授 小林 剛
 Tel: 06-6879-8335
 E-mail: tkobayashi@biken.osaka-u.ac.jp
 場所: 最先端感染症研究棟6階

助教 金井 祐太
 研究員 1名
 大学院生 4名
 補佐員 3名